

第5回上野地区まちづくりビジョン策定委員会における主な意見

1. 学識委員

- ビジョンの役割は、基盤整備などの詳細の検討をしていく中で、何か迷ったときにこれに戻って検討をするもの。ビジョンに記載することについて、合意ができていれば、それは実現に向けたステップの段階がひとつあがったと言える。
- イメージ写真について、誤ったメッセージを伝えないよう、適切に選定すべき。
- イメージ写真について、掲載された意図が少しでも伝わるよう、どこの写真か分かるような説明を追記してはどうか。

2. 区民委員

- 基盤整備に関する内容については、少しでも早く実現できるよう、来年度以降の推進会議でも、議論できる体制を整えてほしい。
- 駅の風格を大切に、上野の顔となるような駅改良のビジョンを示してほしい。
- 地域のまちづくりに関連した情報は、随時地元へ説明してほしい。
- 国際的なシンポジウムに使えるようなホールをつくることができれば、将来的な発展も可能になるという国際的な視点が弱まってしまった。

3. 鉄道事業者

- 駅については、地元の皆さんから期待されているということで、このビジョンに基づいてしっかり取り組みたい。
- 上野は駅として価値のあるもの。今ある価値を重視して取り組んでいきたい。

4. 関係機関（国・都・文化の杜）オブザーバー

- 袴腰広場やアートクロスなど上野文化の杜新構想の取組みをもう少し詳しく記載してほしい。
- 上野駅は、他に類をみない美術館のような駅であり、既存の美術品なども大事にしていきたい。